

3月定例会の一般質問は、18日、19日の両日行われ、10名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

# 市政を聞く 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



山本 益弘  
議員

市長の所信表明から4点について質し、足元を見つめた政策、すなわち松崎カラーを出し、小浜市政に取り組むよう要請した。

**問①日本電産シバウラの誘致について、3月中に契約締結できるか。**

答 操業開始時期は景気動向を見極めながらの状況。土地の転貸借契約を3月中にする努力をする。

**問②観光局設立の市長の意気込みは。**

答 観光局は、食のまちづくりからステップアップし、地域全体を「特別目的会社」とみなし観光を切り口としたまちづくりと活性化であり、しっかり

取り組んでいく。

**問③つばき回廊跡地利用は。**

答 跡地利用検討委員会の方針を「中活計画」に反映させ、小浜らしい賑わい創出に向け取り組んでいく。

**問④公立小浜病院の3期工事予定と理想の姿をどのように描いているのか。**

答 平成23年までの3カ年で診療棟の増築、駐車場の整備、高度医療機器の導入等をしていく。「医の原点」といえる救急医療を中心とした急性期病院として位置づけ、安心安全の医療が受けられる病院としていく。



能登 恵子  
議員

**1. 新要介護認定制度導入による影響と対策**

**問** この4月から介護保険料も福井県内一番になりますが、介護を受けるための認定制度も変わります。歯磨き・洗顔ができない状況（例えば寝たきり）であっても、その人の生活習慣でしていないから介助しなくてもいい、自立（介助なし）となります。しかし、同じ状況でも入院や入所していれば全介助となります。それも家庭で介護される方々がかかなり厳しい判定となります。そのように軽く判定されて困る方々にどのように受け皿と対策を立て

られるのか。

答 小浜独自のサービス活用や住民同士の支えあいなどの推進に努める。

**2. 次世代育成支援、後期行動計画について**

**問** 「次世代育成支援」と言うのは少子化対策であり、「青少年健全育成」は子どもたちを悪い環境や犯罪から守ろうとする制度で、両方とも大切な大人の視点での政策ですが、「子ども権利条例」は子どもの視点からの政策を進めるものです。

答 教育委員会、社会福祉課などの場で協議。



池尾 正彦  
議員

**問①障害者の就労支援について。保護者が就労継続支援(A)型工場の設立に向けて努力しているが、その動きに対して小浜市はどう考えているか。**

答 就労継続支援(A)型工場に移行した場合には、就労の機会が増えるとともに、契約に基づく就労が可能となり、住み慣れた地域で安心して自立した生活を実現するための対策として、より一層期待できる事業であることから、小浜市としてもできる限りの支援をしていく。

**の役割を充実させるために何が必要であるのか。**

答 市民への健康づくり支援をするためには、多種多様な対応が求められ、保健師を初め栄養士や理学療法士、看護師などの専門職員が必要となるが、すべての事業への対応をきめ細やかに行うことは、現状の専門職員数では、困難な状況であることから、今後はより充実を図るために専門職員の採用を検討する。

**問②健康管理センターの役割について。センター**



佐久間 博  
議員

**問①食のまちづくりを生かした産品開発の取り組みは。**

答 野菜工場誘致を検討している。

**問②和久里に計画の「道の駅」の概要や利用者数の予測は。**

答 県の休息所などに市の農産加工調理、物販施設を併設し23年小浜インターチェンジ併用時に運用していく。年間30万人以上の利用者を見込んでいる。

**問③中心市街地活性化基本計画にいつみ町拡幅を入れ認定されれば実現の可能性は。**

答 中心市街地活性化基本計画の国の認定を受け、まちづくり交付金事業が有利である。

**問④観光局創設に向けてJTBから招く専任職員の立場と契約年数は。**

答 観光協会の専務職員として期間は2年。

**問⑤中心市街地活性化基本計画に必要なまちづくり会社を観光局そものにと提案するが。**

答 そういうことも併せて検討したい。

**問⑥長寿伝説を活かし「八百比丘尼のまち健康長寿小浜」を観光メニュー企画にどうか。**

答 健康長寿として観光企画に取り組みたい。



下中 雅之  
議員

**問① 第二次補正予算の目玉である「定額給付金」を地域経済活性化につなげる具体策について、どのように考えているのかを伺う。**

答 本市においても、約5億円の給付金が交付され、市内消費による地域経済の活性化が期待されている。市では、このため「定額給付金セール」のような、市内消費を喚起する取り組みの4月からの実施に向けて、現在、商工会議所、商店街連盟と調整中であり、市も応分の負担を行う予定である。

**問② 周辺自治体に対し、今後の広域連携に対す**

**る取り組みをどのように進めるのかを伺う。**

答 嶺南地域全体の振興を図るためには、歴史的にも経済的にもつながりの深い滋賀県高島市なども含めた、より広域的な視点に立って、それぞれの自治体が有する固有の資源を連携して活用する中で、地域振興を図っていくことが大切であると認識している。

**問③ 道州制の区割り案に対する考えを伺う。**

答 嶺南地域は社会的にも歴史・文化的にも関西圏とのつながりが深いものと認識している。



井上 万治郎  
議員

**問① コウノトリ復活について、昭和40年ごろ、国富地区は野生のコウノトリが息息したいた地であり、現在その復活を目指して「ふゆみずたんぼ」等自然環境の再生に取り組んでおられる。豊岡市がコウノトリを自然に返す活動をされているが、この際ぜひ小浜市としてコウノトリの放鳥を申し込みしてはどうか。**

答 コウノトリの受け入れについては、今後住みやすい環境づくりをさらに進め、環境保全の状況等を十分に検証しながら、地元国富地区や豊岡市など各関係機関ともよく相談し、検討して

まいりたい。

**問② 琵琶湖若狭湾快速鉄道について、概算事業費424億円の財源確保策は。**

答 県および嶺南市町による建設基金積立を継続。今年度末で約46億5,000万円、国の補助制度である都市鉄道等利便増進法等の適用、原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法の適用が受けられると、地方負担金は最終的に55億円の負担との試算も行われている。



三木 尚  
議員

**質問 づばき回廊跡地利用検討委員会の基本方針が要旨示された。委員の方々と同じ方向性だが、紆余曲折を経て市の財産となった場所であり、近視眼的に建物を建てるという発想だけはすべきでない。真に市の中心ならば小浜市、若狭全域の発展につながっていくような活用を考えるべきだ。**

**問① 若狭西街道の名称を沿線の寺社仏閣にちなんで国宝街道とできないか。**

答 別称として考えたい。

**問② 市営住宅の今後の計画について。民間アパートを借り上げて市営住宅に準ずる形で提**

**供できないか。老朽化している住宅を更地にして民間に売却しては。**

答 今年、来年度24戸2棟ずつ合計717百万円で山手に建設する予定。検討課題。

**問③ 区長要望の進捗状況は。住民参加型を応援する意味でも原材料支給や重機の借り上げ料の支援等を市の制度としてもっとわかりやすくせよ。**

答 296件あり、今年度実施が103件、前年度からの継続が42件、21年度実施予定が17件、未実施が134件。検討課題。



風呂 繁昭  
議員

**問① 行財政改革、財政再建の中で、市内企業の状況把握、情報収集し、産業専門員を再配置し活性化を。**

答 職員削減による人件費の抑制、行政のスリム化と効率化を目指した指定管理者制度の導入や民営化の推進による経費の節減に努め、将来を見据えて市民との協働によるまちづくりに取り組む。

**問② 中心市街地活性化基本計画改定作業について。**

答 数回の策定委員会や庁内ワーキング部会を開催し21年度中にも認定申請ができるよう進める。

**問③ いづみ町道路拡張は。**

答 周辺のまちづくり交付金制度を活用して進めることが必要と考える。地域住民と合意形成を図り、食文化の拠点として考えることが必要不可欠である。

**問④ 公民館分権運営について、公民館の管理運営経費を均等割と人口割に基づいて配分しなおし、公民館の職員体制を含め、管理運営を地域に任せ独自運営を推進してはどうか。**

答 指摘のように人口規模や地理的な要因により事務労力等に格差が生じている。今後公民館のあり方をいろいろな面から検討し、21年度に結論を出す。



宮崎 治宇蔵  
議員

**問① 市長は所信表明において、有効求人倍率1.2倍と言っているが、職業・雇用のミスマッチもある。雇用調整助成金の相談もあり、今後ますます雇用情勢が悪化すると思われる。市としてどのように認識しているか。**

答 現在、企業から生産調整による雇用調整助成金や中小企業緊急雇用安定助成金の相談がハローワークおばまに寄せられており、今後、こうした助成金を受けて休業する企業が増加するものと思われる。

**問② 昨年度、障害者支援施設との随意契約の範**

**囲が拡大されたが効果は見られたか。**

答 JR小浜駅前設置されている障害者用トイレや下加斗のトイレ清掃業務、水道メーターの検針業務を随意契約している。

**問③ 景気対策として「住宅改修助成制度」の実施による地元業者への仕事起こしについて。**

答 平成18年度から創設した住宅取得資金支援事業や水洗便所を改造するためのアメニティ資金貸付制度などの利用により、仕事が増えることを期待している。



松崎 圭一郎  
議員

問①食でトップランナーを誇る小浜が、現実には介護保険料の負担額が県内トップ、また、国民健康保険税も高額トップランク入りですが、これはネームバリューのみを追い求めた市民不在の行政が招いた結果だと思いませんか？

答 食育の先進地として高く評価されたが、地域経済・産業振興、健康福祉面で成果が出ていない。今後、これを課題として解消に努めたい。

問②少子化の進展により規模を維持できない学校が顕在化する中での校区決めが、学童不

在の大人の感覚だけで進められないようにお願いします。

答 通学区域の再編成等については、保護者や地域の皆様に理解を得られるよう進める。

問③国民運動として盛り上がった拉致問題、それに対し政府や関係機関の緩慢な行動は、国民不在としか思えませんが、政府要請等を含め、今後の市の対応をお尋ねします。

答 政府や関係機関への要請を、引き続き積極的に取り組む。

21年度予算の概要にも掲載いたしました。舞鶴若狭自動車道小浜西ICのフル化事業に着手することとなりました。

この小浜西ICは、小浜IC(仮称)の供用開始後も舞鶴方面への出入機能のみの「ハーフIC」として存続する予定でありました。

しかし、ハーフICでの存続では、おおい町々小浜市街にかけての交通混雑の解消は見込めず、う回路が少ない現状から、災害時や救急医療に対する弱さが指摘され、関係機関に対し、高浜町・おおい町とともに度重なる要望を実施してまいりました。

この事業は、21年度から3カ年計画で実施され、21年度は1億円の事業費を計上しております。



### 小浜西ICのフル化に着手



杉田玄白記念 公立小浜病院(以下「小浜病院」)は、平成13年度から高度医療設備整備事業を実施してきました。

現在、救急救命センターや本館等を整備した第2期工事までが完了しました。

この事業は、嶺南地域の中枢病院として、地域医療水準の向上と地域完結型の医療を目指して進められているもので、その事業の完結に向け、21年度から3カ年計画で診療棟の増築、既存建物の改修・解体、そし

### 杉田玄白記念 公立小浜病院高度医療設備整備事業(第3期工事)が始まります

て懸案となっておりました患者用駐車場の整備などの第3期工事を行います。

この度の第3期工事の事業概要は次のとおりです。

### 高度医療施設整備事業 第3期工事の概要

#### <事業規模>

17億7,600万円(21～23年度合計)

#### <主な事業内容>

##### ①診療棟の増築

脳神経外科・泌尿器科・放射線治療室・除染室等の配置

##### ②既存建物の改修・解体

旧成人病センター・旧放射線撮影室等の建物を管理部門等へ改修。旧病棟・中央診療棟は解体し、患者用駐車場に

③患者用駐車場の整備  
病院構内の患者用駐車台数を83台→217台へ

④高度医療機器の導入  
がん放射線治療装置の導入  
(公立小浜病院組合資料より)